

ディーンユ・レ・バン姉妹都市提携30周年 これまでの軌跡

今年、フランスのディーンユ・レ・バン市（以下、ディーンユ市）と姉妹都市提携を締結してから30周年を迎えます。ここでは、これまでの30周年の交流を振り返るとともに、今年30周年を記念して予定しているイベントを紹介いたします。

主な交流の経過



1992年

『三陸・海の博覧会』で、ディーンユ市の1億9千5百万年前の地層から発見された「アンモナイトの壁」のレプリカを展示。設置のため技術者7人が当市を訪問。これが交流の契機となる。

1993年
1994年

釜石市助役以下訪問団7人がディーンユ市を訪問。ディーンユ市長以下訪問団を迎え、4月20日に姉妹都市提携を締結し、両市間の相互理解と友好を誓う。以降数年間、児童生徒の絵画交流を実施。

2011年

東日本大震災の際にディーンユ市から支援をいただく。ディーンユ市議会から10,000ユーロ（約105万円・当時）

・ラベンダー祭で集めた募金7,000ユーロ（約73万円・当時）小切手

・ロクシタンの寄付により、認定NPO法人「国境なき子どもたち」が、当市中学生1人をディーンユ市に派遣するプログラムを実施

2012年5月

釜石市国際交流協会員がディーンユ市を訪問。釜石市長からの親書を送る。

2013年5月

ディーンユ市副市長以下訪問団が当市を訪問



2013年8月

市内高校生3人がディーンユ市を訪問（姉妹都市交流プログラム）

2018年9月

釜石市長以下訪問団6人がディーンユ市を訪問。今後の友好を確認

2019年9月

ディーンユ市訪問団（ラグビー関係者）5人が当市を訪問

2021年9月

ディーンユ・レ・バン市との友好の証として、ディーンユ市の苗の定植を開始

2022年2月

ディーンユ市から同市で栽培が盛んなラベンダーの種1,000粒を寄贈いただく

2023年6月

ディーンユ市から寄贈いただいた種からできたラベンダー苗を観光農園他市内に定植

2023年9月

中学生海外体験学習事業市内中学生6人、随行者3人、いわて釜石ラグビーフットボールクラブ35人をディーンユ市などに派遣



5月の記念イベント

名称	日時	内容
ラベンダー苗定植会	5月22日(水)～28日(火)	市内小中学生をはじめとした参加者が、ラベンダー観光農園や市内各所にラベンダー苗を定植
ラベンダーキャンドル等制作ワークショップ	5月26日(日)	イオンタウン釜石内で、ラベンダーを使ったボタニカルキャンドル、アロマサシェなどの制作ワークショップを実施

上記イベントの申し込みなどの詳細は、広報かまいし5.1号でお知らせします。

※この他にも30周年を記念したイベントなどを随時実施予定です。詳細は、広報かまいしなどで改めてお知らせします

ディーンユ市との交流がきっかけで生まれた繋がり

ディーンユ市が、世界的なコスメティックブランドであるロクシタンのブランド創設者オリビエ・ポーサン氏の出身地であることから、ロクシタンとの交流が始まりました。ロクシタンには、復興の過程でも、青葉ビルの再建や薬師公園の整備など、多大な支援をいただいております。現在甲子町で整備が進められているラベンダー観光農園も令和7年度の開園を目指し、共同で整備が進められています。



2018年9月に訪問したロクシタン本社工場

ディーンユ・レ・バン市ってどんなまち？

ディーンユ市は、パリの南東約650kmの地中海に近い山間部に位置しており、アルプ・ド・オート・プロヴァンスの県庁所在地で釜石市の約4分の1に当たる約117km²に人口約16,000人が暮らしています。

伝統的な産業は農業で特にラベンダーが有名です。温泉、レジャー、ジオパーク資産に恵まれ、最近では観光に力を入れています。

